

# 校長室だより

学校教育目標 「**学びを生かす子供**」

～自信と誇りをもった「きらりと輝く龍峯っ子」の育成～

八代市立龍峯小学校  
校長 村嶋 博史



R2,10,27

NO,26

## 感動した運動会 ～「勝ちも負けも立派な勝ち」「負けも負けも立派な負け」～

10月25日(日)快晴の中、運動会を行いました。今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、様々な対策を立てて実施しました。

事前の天気予報では、低温が予想されていたので、寒さを心配していましたが、龍峯山から太陽が顔を出すと気温はどんどん上昇し、絶好の運動会日よりとなりました。子供たちは、練習の成果を発揮しようと、競技に演技に応援に精一杯取り組み、その姿は見る者に感動を与えました。



下記は、私が開会式の中で話した内容の一部です。

「優勝」という言葉は「優勝劣敗」という四文字熟語の一部を切り取ったもので、意味は、「優れたものが勝ち残り、優れていないものが敗れ去る」というものです。

運動会では、どちらかが勝って、どちらかが負けます。でも、その勝ち負けの中には、「負けは負けでも立派な負け」があると思います。負けたとしても、全力を出し切って、一生懸命にやって、負けと分かたら悔しさもあるでしょうが、さっと切り替えて、さわやかに勝ったチームをたたえる。そんな負け方をすることができたなら、それはもう優れた負けと言えるでしょう。優勝劣敗という言葉でいうならば、優れたものとして残っていくものです。つまり、優勝です。負けても優勝なのです。

反対に、勝ちも負けも恥ずかしい勝ちというものがあります。勝ったとしても、ふざけていて本気を出さなかったり、負けたチームの健闘を讃えなかったりしたら、それは恥ずかしい勝ちと言えるでしょう。優勝劣敗という言葉でいうならば、優れていないものとして、忘れ去られていくものです。つまり、優勝ではありません。

今日はぜひ、みなさんには、「勝ちも負けも立派な勝ち」、「負けも負けも立派な負け」を目指してもらいたいと思います。そして全員が、優れたもの、いわゆる「優勝」を手にしてください。

子供たちがこの運動会で見せた姿は、まさに「勝ちも負けも立派な勝ち」、「負けも負けも立派な負け」そのものでした。全員に、優れたものいわゆる「優勝」を送りたいです。

運動会実施にあたり、交通安全協会の皆様には、前日の駐車場の草刈りや当日早朝からの交通整理等に、PTA運営委員の皆様をはじめ保護者の皆様には、準備や後片付けにご尽力いただき心より感謝申し上げます。また、近隣の皆様には、練習期間中の放送の音や土ぼこりなど、大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

子供たちは、この運動会の取組みを通して心身共に大きく成長しました。今後、ここで得た学び(力)を学校生活(家庭生活)の中で生かしていくよう、全職員で支えていきます。

